

2020年度 大阪市立大学 (前期) 英語解答速報

第1問	問1	(1)	呼吸している生身の人間として、私たちの生存は、生物学的必要条件—睡眠を取ること、食べること、体を動かすこと—が満たされるかどうかにかかっている。しかし、これらは私たちが生きていくのに唯一不可欠なものではない。									
	問2	(2)	(人間の脳は本来「あとで後悔するより慎重にしたほうがいい」という対処の仕方をするので) 実際には、恐怖感を抱いて当然だと決まっていないう状況でいつも恐怖感を持ってしまうこと。									
	問3	[A] ※1	4番目	7番目	[B] ※2	4番目	7番目	/				
		④	①	②	⑤							
	問4	[あ]	safe			[い]	city				/	
問5	[ア]	⑤	[イ]	⑧	[ウ]	④	[エ]	⑨	[オ]	③		
第2問	問1	(1)	満腹だという信号を送るホルモンを抑えなければ、ということ。									
	問2	(2)	さらに悪い話をすると、ダイエットしようとしても、ダイエット中に十分な睡眠を取らなければ、無駄になってしまう。というのは、落とした体重のほとんどは脂肪ではなく落ちた筋肉からきているからだ。									
	問3	(3)	睡眠時間が少なくなればそれだけ命を縮めることになり、生活自体の質が落ちてしまうから。									
	問4	[ア]	③	[イ]	④	[ウ]	③	[エ]	②	/		
	問5	[A]	that			[B]	vain					
	問6		睡眠のメカニズムを解明しようとしたがすべて無駄に終わり、なぜ睡眠が必要なのかを科学的に説明できなかった。									
	問7		④				⑥				/	
第3問	(1)	*1If I tell you a simpler way, at times it is more advisable to observe how other people live. (別解) To tell you a simpler way, now and then it is better to observe how others live.										
	(2)	*2the(The) fact is that observing people while travelling will *3make you keenly aware that you're an *4immature young person, who cannot still do anything by yourself. (別解) the(The) fact is, by observing people, while travelling, you cannot help realizing keenly that you're an inexperienced young people, who cannot still do anything on your own.										
	(3)	If you *5go out into the world, you'll realize that *6your family have protected you at your place and that your home has embraced you tenderly. (別解) If you get out into the world, you'll feel keenly that you've been protected by your family, being home, and that your hometown has watched over you.										

第4問	問1	(ア)	⑬	(イ)	①	(ウ)	⑨	(エ)	⑪	(オ)	③
		(カ)	⑰	(キ)	⑤	(ク)	⑱	(ケ)	⑥	(コ)	⑬

第1問 問3

全文は以下の通り。

※1 why on earth do we have such

⑤ ③ ② ④ ⑥ ⑦ ①

※2 everything arrives before being sent to where

③ ⑥ ① ② ④ ⑦ ⑤

第3問

*1: 「もっと手っ取り早い方法を言えば」は、Simply put 「端的に言えば」などの決まり文句がある。しかし、本文の場合、前段落が「自分がどのようにして生きるか」について述べているのに対して、下線部(1)以降は「他人に目を向ける」ことの意義を述べている。前段落を短く言い換えているわけではないので、Simple put や To make a long story short とは表現しなかった。

*2: 「(しかし) 実際は」は、in fact、actually、in practice、as a matter of fact、as it is、as things are という決まり文句がある。本文は、「経済はよいと思われているが、実はあまりよくないのです」とは違って、このままでは but の関係になっていない。前文に「…といったことも大切ですが」とあるので、「実はもっと大切なことがあって、旅をし、…ということだ」と考えて、

In fact, (even) more important is the fact that observing people while travelling will make you keenly aware that you're an immature young person, who cannot still do anything by yourself.

In fact, more importantly, observing people while travelling will make you keenly aware that you're an immature young person, who cannot still do anything by yourself.

と英訳すればよいだろう。

*3: 他にもいくつかの表現が考えられる。

「身をもって教えられる」から強制力が働いているので、make you realize keenly that …など (let は無生物主語がこないのが不可)。

「痛感することを可能にする」と考えれば、

enable you to realize that …

allow you to realize that …など。

*4: 「未熟な」は green で表現してもよい。

*5: 「外へ出れば」は leave home と表現してもよい。leave home は「自立する」という意味を伝えることも多いが、この場合は「自分の足で世間を見してみる」という意味である。

*6: 「家があること」「家族が守ってくれていたこと」「故郷に抱かれていたこと」の3文の並列ではないことに注意。「家があり」は、「家で」という意味で「家族が守ってくれていた」にかかっている修飾部である。

大阪市大入試(英語)講評と対策 (2020年度入試より)

読解問題: ・和訳問題、日本語による説明問題、空所補充などのバランスは例年通り。内容真偽問題を第2問にもってきたのも昨年通りだった。

・英文和訳は、構造・内容面で昨年ほど難しくはなかったが、どういう日本語を選択するかという観点から見ると難しい側面もある。ただし、これは大阪市大に限ったことではない。

・空所補充の一部は手こずったかもしれない。

・説明問題は国公立大学二次試験では避けられないので、日頃からポイントを的確にまとめる訓練をしておかなければならない。説明問題には、第1問の問2、第2問の問1と3のように下線部を与えているものと、第2問の6のように下線部を示していないもの(本問は最終段落の内容)の2種類がある。どちらにも対応できるように練習しておく必要がある。

和文英訳: ・例年通り3箇所の下線部英訳だった。難しいことはないが、簡単でもない。どう表現するべきか考えさせる箇所もある。実際に割くことができる解答時間を考えると、決して楽な問題だとは言えない。細かなことは気にせず、「何を言っているのか」を考えながら英訳すればよい。この際、全体の文構造が破綻しないように気をつけたい。日頃から、中程度の英作問題を文構造と基本的な文法に気をつけながら英訳し、頻度の高い表現や語彙を身につけていくように心がけたい。

小説問題: ・空所補充の設問形式は変わらない。人物関係や背後の事情がわからずに、小説を読みながら空所補充していくのはかなり難しい。実際に割くことができる解答時間には余裕はないだろうが、空所補充しながらさっと読み、二回目で最終的に答えを決めればよいだろう。日頃から、他大学で出題された小説問題を使って小説に慣れておくことも大切である。